

第5回東京都総合高次脳機能障害研究会

高次脳機能障害のリハビリテーションは、病院にとどまらず、在宅生活が始まった地域においても展開していくことが求められています。そのためには、医療、行政、福祉に携わる全専門職の方々のチームワークが大切です。本年は、東京都の市区町村高次脳機能障害者支援促進事業として、各市区町村が実施している高次脳機能障害支援機関の方々に、各地域の支援の内容、現状と課題について、報告していただき、東京都全体についての理解を深めようと企画しました。どうぞ、ご参加ください。

日時：2019年7月28日(日)

会場：首都大学東京 荒川キャンパス内 大視聴覚室(東京都荒川区東尾久7-2-10)

主催：東京都総合高次脳機能障害研究会

共催：東京都理学療法士協会、東京都作業療法士協会、東京都言語聴覚士会

プログラム：基礎編講演「高次脳機能障害のある方への

支援：医療と地域の連携のコツ」、実践編「世田谷区、葛飾区、足立区、調布市、府中市、杉並区、武蔵野市、町田市、西東京市、港区、新宿区、西多摩保健医療圏(青梅市、羽村市、福生市、瑞穂町、奥多摩町、あきる野市、檜原村、日の出町)、東京高次脳機能障害者支援ホーム(通称：HiBDy. Tokyo)からの発表

対象：医療、行政、福祉に携わる全専門職、患者、ご家族

募集定員：280人

参加費：1,000円

その他：申し込み方法・詳細は、東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座のホームページ(jikei-reha.com/Content/tiscr.cshtml)をご覧ください。